

Sustainable Report No.144

日本の春を救う 救世主

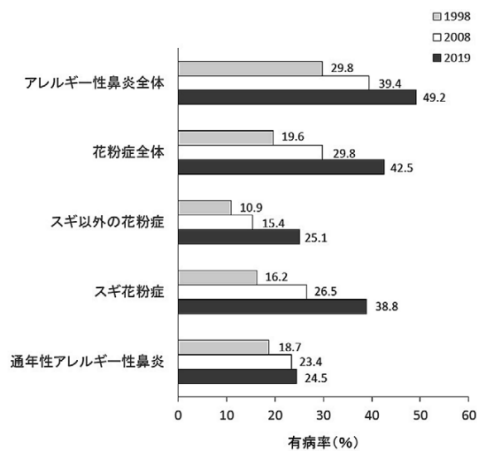


サステナブルレポートとは、サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマを選定し、それらの背景・ソリューション事例・将来への展望などを考察する独自の調査報告書です。
小川電機グループは、全従業員ひとりひとりが本レポートを作成・発信する取組みを行っています。

■ 課題の現状／経緯／影響

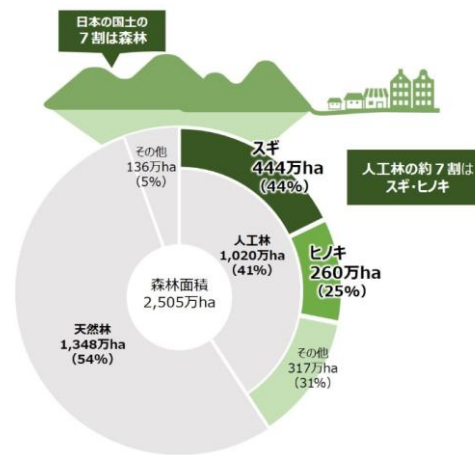
- 日本における花粉症の有病率が上がっている（1998年に19.6%だったが、2019年には42.5%まで上昇）。しかも飛散期間が長期化することも予想されている。
- 戦時中の乱伐から戦後に早期復旧して住宅建築などの木材需要に応えるため、成長の速い杉など花粉の多い樹木を植林した。
- 花粉症人口の増加で、集中力の欠如など生産性の低下が懸念される。林野庁の推計によると、花粉症によるこうした影響は、医療費や労働損失など年間2,860億円の経済損失を招いている。

■ 日本の花粉症の有病率の推移



出典：日本耳鼻咽喉科学会会報・松原・他＝鼻アレルギー全国調査

■ 森林面積に占めるスギ・ヒノキ人工林の割合



出典：林野庁

▶NEXT：無花粉スギの量産化

■ 実行者／解決方法／残る課題

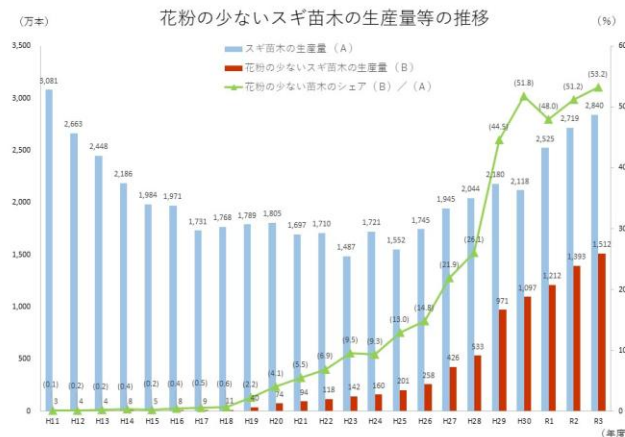
- 富山県では、平成4年に富山市内の神社で**自生する無花粉スギ**が偶然発見された。
- 県は無花粉スギ、愛称『立山 森の輝き』の**量産化に成功**して、優良品種・技術評価委員会にて令和3年1月に優良認定を受け、12年頃から植栽を23年度は県と民間の組合が8万5000本の苗木を生産。
- 無花粉スギが全国に広がることによって、花粉症が**一斉に消滅する訳ではない**。

■ 無花粉スギ（左）と通常のスギ（右）



出典：富山県

■ 花粉の少ないスギ苗木の生産量等の推移



出典：林野庁

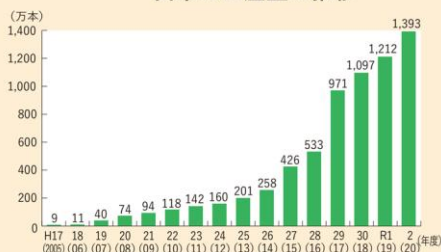
▶NEXT：未来の植栽の可能性

■ 弊害の原因／理想／企業施策

- 全国にある花粉スギの規模に対して、**無花粉スギの植栽**はどこまで進行しているか不明である。例えば、2020年度の苗木の生産実績は、花粉症対策に資する苗木が51%を占めた。
- 花粉症の軽減を実感する時期や程度が予測されることで、**支援者や事業者が増えるのではない**か。
- 苗木の生産本数のみを発信ではなく、地域内の**花粉飛散量との関係を数値化**していく事が望まれる。

■ スギの花粉症対策に資する苗木の生産量の推移（左）／特定苗木の樹種別生産実績と割合

資料 I - 13 スギの花粉症対策に資する苗木の生産量の推移



注：平成29(2017)年度までは花粉症対策苗木、平成30(2018)年度からは花粉症対策に資する苗木の生産量を集計している。

資料：林野庁整備課調べ。

資料 I - 12 令和2(2020)年度特定苗木の樹種別生産実績と割合

樹種別 生産実績	スギ	うち 特定苗木	ヒノキ	うち 特定苗木	カラマツ	うち 特定苗木	グイマツ	うち 特定苗木	その他	合計	うち 特定苗木
		2,719	(280)	793	(4)	1,593	(0)	133	(20)	1,320	6,558
特定苗木 生産割合	10%		1%		0%		15%		-	5%	

資料：林野庁整備課調べ(令和2(2020)年度(2020年秋～2021年春))。

出典：林野庁

本レポートをご覧いただき、ありがとうございました

■ 参照・引用資料

- 科学技術情報発信・流通総合システム (J-STAGE) 掲載 – 日本耳鼻咽喉科学会, 松原 篤 他「鼻アレルギーの全国疫学調査2019」, 会報 2020 年 123 巻 6 号 (https://www.jstage.jst.go.jp/article/jibiinkoka/123/6/123_485/pdf/-char/ja)
- 林野庁, 「スギ・ヒノキ林に関するデータ」, 2024年6月2日参照 (https://www.rinya.maff.go.jp/j/sin_riyou/kafun/data.html)
- 富山県, 「優良無花粉スギの愛称「立山 森の輝き」について」, 2021年2月24日更新
(<https://www.pref.toyama.jp/1603/kurashi/kankyoushizen/kankyoku/kj00011527.html>)
- 林野庁, 「花粉の少ない苗木生産量について」, 2024年6月2日参照 (https://www.rinya.maff.go.jp/j/sin_riyou/kafun/naegi.html)
- 林野庁, 「令和3年度 森林・林業白書」内「第1部 第1章 第2節 森林整備の動向 (1)」, 令和4年5月31日公表
(https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/hakusyo/r3hakusyo_h/all/chap1_2_1.html)

■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先



小川電機株式会社

〒545-0021 大阪府大阪市阿倍野区阪南町2丁目2番4号

tel:06-6621-0031(代)

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失 利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的著作権は株式会社小川電機に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。